



六甲カトリック教会 教会報



「野戦病院」として

主任司祭 英 隆一朗, s. j.



暑さが和らぎ、コロナの新規感染者が減ってきましたので、教会活動も徐々に再開していきましょう。盛大な飲食はできませんが、互いのつながりをもつことができる時と場をできる限り確保していきたいです。

現代に求められている教会の姿はどのようなもののでしょうか。六甲教会の祈りの中にはないですが、教皇フランシスコによると、教会は「野戦病院」であれと言われています（教皇来日の際、東京ドームミサ）。もちろん六甲教会が文字通りの野戦病院にはなれません。心や体の病気をもっている人が教会に来て、専門的な治療を施すことはできませんから。そこまでできなくとも、教会に来れば、何かほっとできる、少し

でも安らぐことができる場を提供することぐらいはできるのではないのでしょうか。

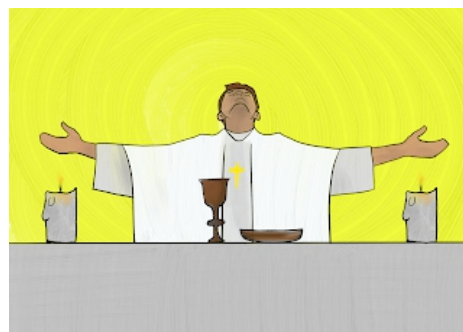
東京ドームミサの説教の中で、教皇は日本社会について、「経済的には高度に発展した社会ですが、社会的に孤立している人が少なくない」と論評しました。確かに孤独は今の日本社会の一番大きな課題かもしれません。教会が、孤立している人たちに少しでも開かれ、何らかのいやしを分かち合える場になれば、主イエスに喜んでもらえるのではないのでしょうか。

そのような現状を鑑みて、六甲教会が「野戦病院」となる小さな試みとして、近隣の若者が足を踏み入れることができるオープンスペースを提供してみようと思います。今でもだれでも教会を訪れることはできますが、多くの人にとって敷居が高いです。そこで、平日の夜に、1階ロビーでくつろぎの時間をもったり、2階の図書室で静かに自習できるようにして、だれでも訪れることができる態勢を整え、呼びかけていく予定です。その他、さまざまな形で活用を考えていきたいです。皆さんの中でも、平日にコーヒーを飲みを訪れたり、図書室で静かに本を読んでみませんか。皆さんも大いに利用してください。皆さんの中で、何か集い・勉強会・イベントを始めたい方はどうぞ申し出てください。いろいろな方が教会を訪れてもらえるとよいと思います。

また、教会の諸活動は充実しているものの（講演会など）、若い人には情報が届いていないように見えます。今はインターネットを通して情報を得る時代になりました。まずはホームページを更新して、YouTube チャンネルも作り、

Facebook、Instagram、Twitter も活用します。なるべく多くの SNS を使って、だれでも簡単に教会にアクセスできるように整えていきます。この2つのプロジェクトは、宣教部・広報部の合同プロジェクトとして、有志の実行チームが進めていく予定です。新しく来たニティン神学生が中心メンバーの1人です。

六甲教会という場を通して、多くの人に神の恵みが分かち合われるように、皆さまもお祈りください。



使徒信条からニケア・コンスタンチノーブル信条へ

＝新しいミサ式次第への移行準備＝

9月11日（日）典礼奉仕者のつどいが開かれ、英主任司祭による「新しいミサ式次第」のおおまかな解説がありました。新しい式次第はことしの待降節第1主日（11月27日）から適用されます。司祭、信徒ともかなりの部分が新しい文言と動作になります。説明会などもおいおい開かれますが簡易版のテキスト（100円）もあります。当教会は基本的に大阪司教区の方針に合わせるとい主任司祭の方針です。大きな変更のひとつとして信仰宣言は、「使徒信条」から「ニケア・コンスタンチノーブル信条」を唱えることになっています。かなり長いものですので、暗唱に至るまでには時間がかかるのではないかと思います。広報部として今後、新しいミサ形式についてのポイントを適宜とりあげお知らせするつもりですが、まず、この「コンスタンチノーブル信条」がしっかり唱えられるように、いまから準備されてはいかがでしょうか。9頁に掲げておきます。

◇10月23日（日）14時から「新しいミサ曲を学ぶ」研修会がカトリック大阪梅田教会聖堂にて開かれます。講師は日本カトリック典礼委員会 宮腰俊光さん、オルガンは三浦優子さん。主催は大阪教区典礼委員会。公開、後日 youtube でも視聴できます。

♪♪♪ 聖歌隊練習 再開のご案内 ♪♪♪

ミサの式次第の刷新に伴い、ミサ曲の言葉も「主よ、あわれみたまえ」は「主よ、いつくしみを私たちに」のように変更になります。

先日新しいメロディのミサ曲が3種類発表になりました。

それに伴い、六甲教会でもコロナ禍での活動を自粛しておりました聖歌隊練習を再開いたします。

まずは聖歌隊を中心に少しずつ練習を始め、新しいミサ曲を覚えて、会衆の皆様と一緒に歌える日を迎えたいと思います。

コロナの感染状況に対応しながら、また感染防止対策を考えながら実施してまいります。間隔を広く取り、マスクを着用したままでの練習になりますが、聖歌隊メンバーだけでなく、新しい聖歌を歌ってみたい、またどんな歌か実際に聴いてみたい方など、どなたでもどうぞお気軽にご参加ください。

日時：2022年10月29日・11月19日 いずれも土曜日 10：00～12：00

場所：イグナチオホール、または聖堂

聖歌指導：三浦優子

内容：新しいミサ曲の練習

持ち物：楽譜（こちらで準備します）

お願い：マスク着用（歌はマスクのままで歌います）

濃厚接触の疑いがある方、体調が悪い方は無理せず参加を控えてください。

なお、新しい3種類のミサ曲A・B・Cは、カトリック中央協議会のサイト「最新のお知らせ」から楽譜をダウンロードできます。また、歌っている音源を聴くこともできます。

（典礼部音楽チーム・聖歌隊）

神学生ニティン コエリョ (Nithin Coelho) さん紹介

9月から六甲教会に来られた神学生・ニティン コエリョさん(31歳)をご紹介します。インド南西部の海岸都市マンガロール(MANGALORE)の出身です。ご家族が熱心なクリスチャンで18歳のときイエズス会に入会、将来神父になろうと決心されました。来日は2020年11月。そのまえにフランスに留学、パリで3年間哲学を勉強しました。コロナで来日が少々遅れたのですが、東京四谷の日米会話学院で日本語の勉強を続け、日常会話には不便を感じないほどになりました。神戸に来てからは12月の日本語能力検定に合格するため、目下猛勉強中です。日本の運転免許も取得するつもりです。神父になるため、神学の勉強が一番大切なので、まずことばを覚えてから、ということです。



六甲教会に来てからは、平日の朝ミサの福音朗読を受け持ち、あとミサ司式のお手伝いをしています。絵が得意で、イラストを描いたりユーチューブやブログで物語を創作したりして楽しんでいます。SNSに詳しく、技術的な面で教会の広報・宣教活動に一役買ってもらおうということになっています。滞在は6か月と短い期間ですが、若い神学生の勉強のため皆さまの温かい応援をお願いしたいと思います。(聞き手 詫 洋一・大上尚子)

ニティンさんのユーチューブならびにブログのURLは下記のとおりです。

<https://m.youtube.com/channel/UCGuKNvscRo39WxwXtmIrvA>

<https://mindiscuriousandcreative.blogspot.com/search/label/ART?m=1>

※巻頭ページの絵はニティンさんの作品です。タイトルは「Image of Priest」

8頁のカットもニティンさんのイラスト。

教会をオープンスペースに



「出向いて行く教会」は「受け入れる教会」でもあります。9月半ばの主日ミサで主任司祭からの説明があったとおり、また巻頭でも触れられたとおり、主任司祭の就任以来のテーマである、開かれた教会＝とくに若者のために＝を実践する準備が進んでいます。

教会ホームページの積極的活用がそのひとつ。教会の活動で、一般の方々にもお知らせしたい行事、会合などを、これまで以上にアップして更新していきます。直近では「祈りと音楽の集い」、下川神父の「学習会」などを順次アップしました。六甲教会がどんな有意義な活動を行っているか、をもっと知ってもらうためです。

また、教会の図書室を開放、集まってくる学生たちなどの自習室として使ってもらいます。(要・利用申込書) 利用時間は平日の朝9時から21時まで。(水曜日は17時まで)。夜の時間帯は英神父と神学生ニティンさんが教会に詰めることになります。階下で休憩、コーヒブレイクも可。WiFi可能です。聖堂に行ってお祈りするのもよし、悩みがあれば神父さまが話を聴いてくれます。とりあえず、ニティン神学生が滞在する6か月間をお試し期間としています。思い切った試みですが、試行錯誤しながら、うまく軌道にのればこんなにすばらしいことはありません。六甲教会の地域への存在価値を高めることが期待されます。

秋の黙想会へどうぞ

10月8日（土）15時～17時50分

講師：山内保憲神父（イエズス会）

テーマ：イエズス会は今、どこへ向かおうとしているか

＝イエズス会使徒職全体の方向づけ Universal Apostolic Preferences (UAPs)＝

講話と黙想を交互に繰り返しながら18時のミサにつなげます。（宣教部・養成部）

学習会「教会の社会的次元」（講師・下川神父さま）に参加して

コロナで延び延びになっていた下川神父さまの学習会が、ようやく開催（9月18日）されました。台風の接近が危ぶまれる3連休にも関わらず、会場のイグナチオホールは70名を超える方々で溢れ、中には、神戸地区の他教会でシナピス活動をされている方々のお顔も。

25年間にもわたり、東京で野宿者とかかわり続けてこられた神父さまの、聖書のたとえ話からのお話だけでなく、実際に経験してこられた事例など、炊き出しや夜回りに参加している身にはとても勉強になりました。特に『視点を変える』について、例えば、当事者視点でスラムからの脱出を考えるだけでなく『スラムが解決の第一歩』になりえるということ。こちらの目線ではなく、スラム当事者の目線で見ることに意味があるということ、あらためて考えさせられました。

ここ神戸では、カトリック社会活動センターが、夜回り、炊き出し、越年越冬の炊き出しなどを行っています。阪神淡路大震災直後から始まったものです。コロナ禍のため、今はまだ一緒に作って食べることはできませんが、活動に興味を持たれた方がおられましたら、ぜひ、一度、ご連絡ください。（三垣恭子）



私の好きな聖書のことば

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」
マタイ 11：28



誰もが知っている聖書の言葉に目を止めたのは、1987年のこと。夫が病気で働けなくなったときだった。子供は、6年生、4年生、幼稚園児だった。退院してもその後の生活の見通しは全くたたなかった。いろんな方のアドバイスや支援を受けて、私は3つの仕事をしながら生活していた。時々開く聖書で、この言葉を読んだとき涙がでた。こんな優しい言葉があるのだと。しかし現実の生活は相変わらず。朝から晩まで仕事と家事の毎日。

自分の時間さえない日々。いつになったら神様に「合格」のハンコがもらえるのかなといつも思っていた。そんなある夜、夫が「いつもありがとう。あなたにしてもらっていることを考えたら、マリア様のように思えてきた」と言った。今までそのように感謝をされたことが全くなかったので、私は思わず「大丈夫？死なないでよ」と言ってしまった。遅くに帰ってきた息子に言うと、息子はベッドを見に行き「生きてる」と…。

その時「感謝しなければならなかったのは、私の方だった」と突然悟った。夫に導かれて教えられていたのだ。「すべてのものに愛と感謝を」との神様の教えを実行するための夫の姿だった。「私の方こそあなたに感謝しなければならぬ」。

それからほどなく夫は帰天した。ひと月ほどして、たくさんの花に囲まれ気持ちのいいところに座っている夫の夢を見た。「ひと月前からここにいるよ。いいところでしょう」夫は神様のもとで休んでいるのだ。嬉しくて涙がとまらなかった。 北上千恵子

◇ コーラス部が発足します

コロナで長いあいだ活動を休んでいた混声合唱団が、「六甲カトリック教会コーラス部」と名前を改めて再出発することになりました。以下、世話人の方々からのお知らせです。

この7月に混声合唱団のメンバーで話し合って、名称を「コーラス部」と変更することに決まりました。コロナ禍で長い間練習もできませんでしたが、様子を見ながら1か月に1～2回の練習をと考えています。教会信徒以外の方もご参加いただけます。ほとんどが聖歌以外の歌です。今までご尽力くださった藤井恵津子様から、3人のメンバーにバトンタッチしてお世話させていただくことになりました。指導は三浦優子さん、ピアノ伴奏は熊澤加代さんです。まず10月9日（日）12時30分（11時30分ミサ後）より練習を始めたいと思います。午後2時頃までの予定です。（昼食は各自、軽食などをご用意ください。）会費などは未定ですが、参加希望の方はどうぞおいでください。

世話人 小坂田さち子 鈴木肇 北上千恵子

◇ 社会活動部よりお知らせ(10月の予定)

10月5日（水）10時～ 手芸部 第1,第2会議室

10月7日（金）初金ミサ後 社会活動部連絡会 第4会議室

10月8日（土）10時～ 炊き出し 中央教会中庭 活動センター台所

10月28日（金）9時半～ ともしび会 イグナチオホール台所

◇ アフリカ支援グループ解散のお知らせ

マダガスカルで働くマリアの宣教者フランシスコ修道会のシスターを支援するため、毎年カレンダーのご寄贈をお願いしておりました活動グループの解散についてお知らせいたします。働いていらっしゃるシスターも90歳、84歳とご高齢になられ、支援する側も高齢になってまいりましたので、37年間続けてまいりましたアフリカ支援のための活動を11月に解散することになりました。六甲教会の皆様には、絶大なるご協力をいただきましたこと、感謝の言葉しかございません。本当にありがとうございました。今年末からはカレンダー等のお願いは致しませんが、いつまでもお祈りでシスター方の活動のご支援くださいますようお願い申し上げます。

藤井恵津子

《 図書室からのお知らせ 》

今月も英神父さまからいただきました。

☆ 何を信じて生きるのか 片柳 弘史 PHP 研究所

自分を信じる 人を信じる 明日を信じる 信じる心を育てる

「もう無理です。あとはあなたがやってください」 姜尚中氏 推薦！

☆ 永井隆の十字架の道行 絵 永井隆 解説 結城了悟 サンパウロ

「如己愛人」(己のごとく人を愛せよ)を生き抜いた平和の使徒、永井隆博士。死を覚悟して描いた14枚の絵画「十字架の道行」には、救い主キリストに対する彼の深い信仰が込められている。

☆ エコロジーと霊性 チャールズ・カミングズ 訳 木鎌安雄 聖母文庫

自然保護と環境問題を神学の光に照らして黙想してみよう。

☆ 平和と希望をつくる子どもたち 江島正子 ドン・ボスコ社

マリア・モンテッソーリの幼児教育(宇宙的教育・宗教教育とその実践)

☆ 神のいつくしみへの礼拝 ショーン・マリア・ライル 聖母の騎士社

聖ファウスティナは2000年同じポーランド人のヨハネ・パウロ二世によって列聖されました。神のいつくしみについて力強く語り、いつくしみへの礼拝を教え、神への信頼と隣人愛に生きたシスターです。

《お願い》 ※ 教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

またお気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。学習室としての開放に伴い、雰囲気は多少変わります。よろしく願いいたします。

チャリティーバザー（11月13日）開催に向けて =地区会より=

11月13日（日）13:00～16:00に3年ぶりに開催致します。

アルコール、食事の提供はありません。「蚤の市」と「衣料品販売」を行います。寄贈品の協力をお願い致します。

【寄贈品のお願い】

「蚤の市」（新品）、「衣料品」（新品または新品同様）の寄贈をお願いします。

提出場所、収集期間にご注意ください。

「蚤の市」10月15日（土）～11月6日（日）まで。提出場所：聖堂入口

「衣料品」11月4日（金）～11月12日（土）まで。提出場所：信徒会館1階奥

Q:どんなものを寄贈したらいいの？

・「蚤の市」は新品、「衣料品」は新品または新品同様のものです。特に衣料品は、従来のような古着ではなく、自分も欲しくなるようなものをご提供ください。

Q:新品ならどんなものでも大丈夫？

自宅の押入れや物置の片付けのための寄贈はご遠慮ください。

→次のものは、寄贈を控えて下さい。

- ×大きな額、重たい置物、半端な食器セット、思い出の骨董品
- ×メダイやロザリオ
- ×新品同様でも黄ばんだシーツ、肌着など経年劣化したもの。
- ×化粧品、薬、期限切れの食品

お願いの理由：最近では100均などで新品が気軽に入手できるようになりましたので、いかにも中古品、古着といったものはまず売れません。以前は売れ残り品を引き取ってくれる事業者もありましたが最近ほとんどなくなり、売れ残り品の処分は品物により有料になってしまいます。

チャリティーバザーは、教会の行う慈善事業です。どうか皆様のご理解とご協力をお願いします。

10月からイグナチオ喫茶が復活します。第1日曜日の10:00 11:30 ミサ後に、ソフトドリンクのみの提供です。初日（10月2日）はパウロ書店の出店もあります。

今月の聖人 聖ヨハネ・オーギルビ(1580～1615)

ヨハネ・オーギルビはスコットランドの貴族の出身です。スコットランドでは宗教改革の影響を受け、カルヴァン派の勢力が強く、しかもヨハネの父は熱心なカルヴァン派で、カトリックを取り締まる役目を負っていたと言います。しかし、彼は考え抜いた末、カトリックを選びイエズス会に入会します。フランスから母国スコットランドに帰り、身を隠すようにしてカトリックのミサを立てていましたが、裏切られ逮捕されます。過酷な拷問に耐えながら「王が教皇の霊的権威を犯す権限はない」と主張したため、反逆罪として処刑されました。歴史上スコットランドはイングランドやフランスの脅威を受け、政治的にも不安定な時期を近代まで持ち続けた国ですが、宗教も複雑でした。ヨハネ・オーギルビは1976年10月17日、パウロ6世によって列聖されました。彼はスコットランドで孤軍奮闘したカトリック司祭だったと言えるでしょう。因みに、つい最近(2022年6月)スコットランド国教会とカトリックが和解したというニュースが入っています。

（詫 洋一記）

趣味百景へ「カラオケ三昧」のタイトルで原稿を書くようお話をいただきました。というのは先日、教会の近くの小ホール「里夢」で、中島みゆきの「銀の龍の背に乗って」を歌ったからでしょう。カラオケには以前から時々足を運んだものです。

ミサで歌うことが禁じられていたコロナ下、聖歌隊だけに招集がかかる葬儀ミサにはできる限り参加し、葬儀ミサ独唱者の代打要請にもひそかに備えていました。

今日も昼寝から目を覚ますと山影が伸びた急坂を、裏山の展望公園まで登ります。神戸沖の淡路島と大阪・奈良、六甲の山々に向かい讃歌の声を上げ、たまたま居合わせた子どもたちは「アンパンマンのマーチ」を聞かされるハメになるのです。それで僕の意図した彼らとの交流が簡単にはじまるのですから、アンパンマンの力は絶大です。鳥や蟬のカラオケ、数日前から秋の虫まで加わり大合唱。汗と六甲山の恵みで気分はルンルン。『カブトムシはどこで捕れますか』と子ども連れの若い父親から声を掛けられました。大きな麦藁帽は僕を山の老主（ろうあるじ）に変身させたのでしょうか。

教会での活動は、ミサでの聖書朗読と「朗読の集い」の世話係。世俗では外国人相手の日本語教師。前半生の数学教師は引退し、趣味百景をテーマに大海原を泳いでいる姿を自己イメージしての後半生です。



教会のご近所訪問「MAISON MILLE(メゾン ミル)」

～ぬの・いと・てづくり～

教会を出て信号を東へ 300 メートル、援助修道会の斜め向かい(山側)に、9月1日にオープンした手芸店「メゾン ミル」があります。ウインドウには、カラフルなレザーバッグや小物たちがきれいに陳列され、幅広い世代に人気のマリメッコをはじめとするオーナーチョイスのかわいらしい生地や、500 色ある刺繍糸や縫い糸が、透明のアクリルケースに整然と並べられています。手芸に欠かせないこまごました道具もここで揃います。そしてお店の奥には大きな木のテーブルが2つ。これを囲んで子供から大人まで、手芸好きの人たちと小物づくりの講習会などが開かれます。



店名のミル(mille)は、ミレニウムやミルフィーユなどで日本人にもなじみのあるフランス語の「千の」を意味します。オーナーの平岡千里さん(写真)はこの店名にたくさんの希望や思いを込めました。千里さんの手芸好きの歴史は長く、幼稚園児のころからだと言います。航空会社勤務時代には世界中の手仕事を見る機会に恵まれ、社会福祉法人神戸海星会うみのほしの理事長になってからも、もっと手芸を多くの人に楽しんでもらいたい、手芸で社会に奉仕したいという思いは止まず、ついに念願かなってオープン出来ました。1 階は通常の手芸店ですが、2 階は「うみのほし」の利用者の皆さんにスペースを提供する、“手しごとデイサービス ダブリエ”です。利用者の皆さんの作品は、1 階の手芸店に展示・販売されますので、やりがい、生きがいにつながると期待しています。



灘区曾和町 2-1-2 東 TEL 050-5526-2964 営業日：月・火・木・金・土の 11 時～17 時。
手芸教室開催予定は、インスタグラムもしくは電話で。

イグナチオ・ロヨラの息吹〔5〕

神秘家として

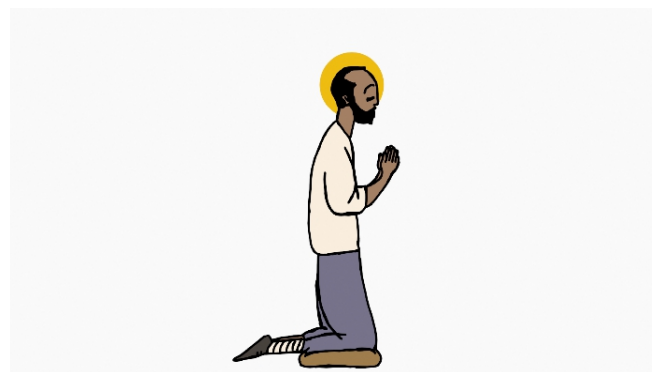
中村健三神父

世間の評判では、彼に神秘家という名を冠するのは全くそぐわないかもしれない。しかし不思議なことに、生涯の大切な時に幾度も神から大きな示現によって、聖なる転機に恵まれた。神によって一方的につき動かされ受け身で恍惚の人となるという意味では、彼は神秘家ではないかもしれない。しかし自らの勇猛な行動こそが求められ、戦闘に明け暮れる派手な宮廷人であったイグナチオには、特異な彼独自の神秘家としての歩みがあったようだ。それは、「すべての事に神を見出す」という道であった。別の言葉で言えば、日常茶飯の行いを通して神に奉仕する生き方を選ぶ事と云えば、当たらずとも遠からず、彼独自の境地を現わしているのではないか。

好きな恋人の傍で酔いしれ、うっとりする恍惚状態ではなく、むしろしっかり目覚めて神の望みを絶えず識別し、今の与えられた時に、この私が為すべきことを全力を尽くして励む道であった。先ず現実を直視し、必要なことを見極め、実効性のあるテコ入れのし方を選び、あとは全力を尽くして献身するのみ。もはや疑い迷ったり、成果や世評を気にしたりはしない。しかしこのような不動の確証を得るまでは、時間をかけて吟味し時には衆議を尽くすことを彼は厭わなかった。自らは司祭に叙階される日を延期し、確信に至るまで何と一年間を待つ事、延期する方を選んだのである。

彼の手になる自叙伝の中に大変な頻度で、涙ながらに祈り願う不思議な姿が描か

れる。失明の危険を冒してでも、イグナチオにとって涙は多くの事を語り聞かせる目印であった。また彼の体験に基づいて編まれた霊操の中で、黙想はいつも対話で結ばれるが、先ず聖母マリアと、次いでイエズスと、最後に父である神との親密な語らいで終わっている。不思議なことと言うべきか、あるいは当然ながらと言うべきか、毎日二度の良心究明を推奨した。それは告解の準備ではなく、むしろ神を賛美するためであり、今ここで神に奉仕する心を新たに整えるためであった。こうして老人の手中にする杖やあなた任せの死に体に例えて、従順の全き守りを会員に求めたのも、彼の中では自明の事であった。彼のお蔭でいろいろ物議と攻撃の中に曝されながらも、一つの新しい修道会がここに、教



会に誕生することになった。「主よ、あなたは私を探り、私を知り尽くされました。あなたは我が座るのも立つのも知り、遠くから我が思いを弁えられます。」

第7回ユスト高山右近の足跡を訪ねて・旅募集（島原、天草、長崎方面）

同行司祭：英隆一朗神父

期日 11月17日（木）～19日（土） 予定参加費 59,000円（クーポン券6000円付）

申し込み締め切り日：10月16日（日） 最少催行人数20名 詳しくは申し込みチラシ参照

少しずつ覚えられるように…。

ニケア・コンスタンチノーブル信条

わたしは信じます。唯一の神、
全能の父、
天と地、見えるもの、見えないもの、
すべてのものの造り主を。
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、
すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。
すべては主によって造られました。
主はわたしたち人類のため、
わたしたちの救いのために天からくだり、
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、
人となりました。
ポンティオ・ピラトのもとで、
わたしたちのために十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にある通り三日目に復活し、天に昇り、父の右に座に着いておられます。
主は生者と死者を裁くために栄光のうちに再び来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。
罪のゆるしをもたらす唯一の洗礼を認め、
死者の復活と、
来世のいのちを待ち望みます。アーメン。

【2022 年 10 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
年間第 27 主日 ◎日曜班					初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 10:00 ミサ後	炊出し 秋の黙想会 15:00～
9	10	11	12	13	14	15
年間第 28 主日 小教区評議会 13:00～	教会受付休 み 三日月会総 会 13:00～				◎灘北 2・阪神	
16	17	18	19	20	21	22
年間第 29 主日 バザー委員会 典礼部会 13:00～		聖ルカ福音 記者			◎灘南・神戸西	遠足（近江八 幡方面）
23	24	25	26	27	28	29
年間第 30 主日 世界宣教の日（献 金）施設管理部会					聖シモン聖ユダ 使徒 ◎灘西・中央	
30	31					
年間第 31 主日						

◎は掃除当番地区です。

編集後記

- ・台風一過、急に涼しくなりました。灯火親しむ候、受験生も本腰を入れなければならない季節です。オープンスペースが、まじめに勉強する若者の役に立ってくればよいと思います。
- ・イグナチオ喫茶が復活します。第 1 日曜日の 10:00、 11:30 ミサ後に。ソフトドリンクのみの提供で月 1 回のみの店開きですが、交流と分かち合いの場です。おいに語り合いましょう。
- ・10 月 10 日（月・祝）14 時から片柳神父さまの講演会「マザー・テレサに学ぶ祈りの心」が神戸中央教会であります。ひさしぶりにあのお声とお話を聴きに行く方もいらっしゃるのでは。（余）

次回 11 月号の発行は 10 月 29 日（土）です。
原稿は毎月 15 日ごろまでに教会受付へ直接ご持
参いただくか、FAX やメールでお願いいたしま
す。皆様からの原稿をお待ちしています。
あわせてご意見もお寄せ下さい。広報部
<http://www.rokko-catholic.jp>

六甲カトリック教会
〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21
電話 078-851-2846
FAX 078-851-9023
E メール renraku@rokko-catholic.jp

発行責任者 英隆一朗
編 集 広 報 部